ペリカン文書（1993）

THE PELICAN BRIEF

メディア 映画
ジャンル サスペンス　ミステリー
製作国　アメリカ
色彩　Color
時間　141分
初公開日 1994/04/29
公開情報 ＷＢ

【解説】

　Ａ・Ｊ・パクラ、やや復調という所なのだろうか。しかし、同じグリシャム原作ものなら、「依頼人」の方が観終わっての印象は断然いい。本作も無論、「ザ・ファーム／法律事務所」のように息もつかせぬストーリーテリングは堪能できるが、所詮それだけである。検察官を目指し法科に通うダービー（Ｊ・ロバーツ）は、世間を騒がす最高裁連続殺人に関する自分なりの説をまとめ文書を作った。それがいつの間に国家の上層部の黒幕の目に触れ、“ペリカン文書”と名付けられ、彼女は命を狙われる。恋人でもあった恩師（Ｓ・シェパード）は殺された。孤立無援の彼女を助ける者は新聞記者のＤ・ワシントンの他にいない……。ロバーツが変装したりしながら逃げ回る前半は面白いが、巻が進むに連れ息切れしてくる。さっそうとしたワシントンには好感が持てた。

【クレジット】

監督	アラン・Ｊ・パクラ	Alan J. Pakula
製作	アラン・Ｊ・パクラ	Alan J. Pakula
原作	ジョン・グリシャム	John Grisham
脚本	アラン・Ｊ・パクラ	Alan J. Pakula
撮影	スティーヴン・ゴールドブラット	Stephen Goldblatt
プロダクションデザイン	フィリップ・ローゼンバーグ	Philip Rosenberg
音楽	ジェームズ・ホーナー	James Horner
出演	ジュリア・ロバーツ	Julia Roberts
	デンゼル・ワシントン	Denzel Washington
	サム・シェパード	Sam Shepard
	ジョン・ハード	John Heard
	トニー・ゴールドウィン	Tony Goldwyn
	ジェームズ・Ｂ・シッキング	James B. Sikking
	ウィリアム・アザートン	William Atherton
	ロバート・カルプ	Robert Culp
	スタンリー・トゥッチ	Stanley Tucci
	ヒューム・クローニン	Hume Cronyon
	ジョン・リスゴー	John Lithgow
	アンソニー・ヒールド	Anthony Heald

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.